

YUMOTの育てたい人材層

キラリと光る

ナンバー・ワン企業

オンリー・ワン企業

イノベーションを目指す
地域中小企業の人材

BEFORE

地域産業の中核をなす
大企業の人材

コンビナート企業

輸送用機器、機械、エレクトロニクス



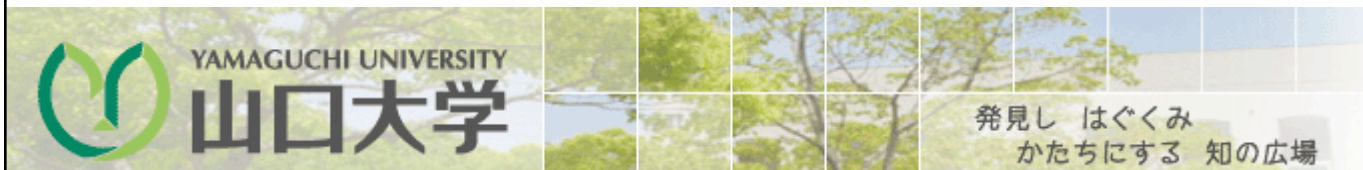
- 技術と経営をリンクして経営者を企画・戦略面で支援する人材
OR
- 経営者予備軍

AFTER

- 地域中核企業のCTO
(最高技術責任者)支援人材
OR
- CTO予備軍

〒755-8611 山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
電話: 0836-85-9876 / FAX: 0836-85-9877
E-mail: mot@yamaguchi-u.ac.jp
URL: <http://mot.yamaguchi-u.ac.jp/>

西日本におけるMOT教育・研究の拠点



- 宇部、北九州、広島の3拠点体制
- 地域の事業所勤務で教育の機会



土日集中開講
社会人学生に対応！



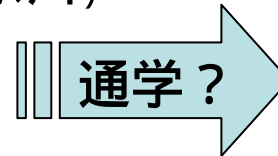
地域事業所と人材育成

< A社における の活用事例 >

山口大学

X 研究所、製造部門 (埼玉、神奈川)

Y 研究所、製造部門 (三重)



Z 研究所、製造部門 (山口)

通学時間10分!

● 全社的視点で技術者等のローテーションと育成計画を検討

● 社員を派遣中

YUMOT

山口大学大学院技術経営研究科
Yamaguchi University Management of Technology



カリキュラム内容: 科目一覧

マネジメント	プロジェクトマネジメント特論
	組織と人材マネジメント特論
	企業経営特論
	経営戦略特論
	経営組織特論
	戦略思考特論
	国際経営戦略特論
	マーケティング戦略論
知的財産	知的財産権特論
	知的財産戦略特論
	コンテンツビジネス法務特論
	創造的問題解決特論
財務・経済	会計・財務特論
	財務戦略特論
	ベンチャー資金戦略特論
	経済分析特論
地域	地域経済論
	地域イノベーション論

産業技術	新産業創出特論
	技術戦略特論
	技術評価特論
	新商品開発戦略特論
	生産管理特論
	リスク管理特論
	研究開発型ベンチャー特論
イノベーション分野	生命医療技術特論
	情報化製造技術特論
	環境・エネルギー技術特論
	先端機能材料特論
情報ネットワーク特論	
演習系	プロジェクトマネジメント演習
	商品開発演習
	知的財産戦略演習
	ビジネスプラン演習
	特定課題研究

必修科目

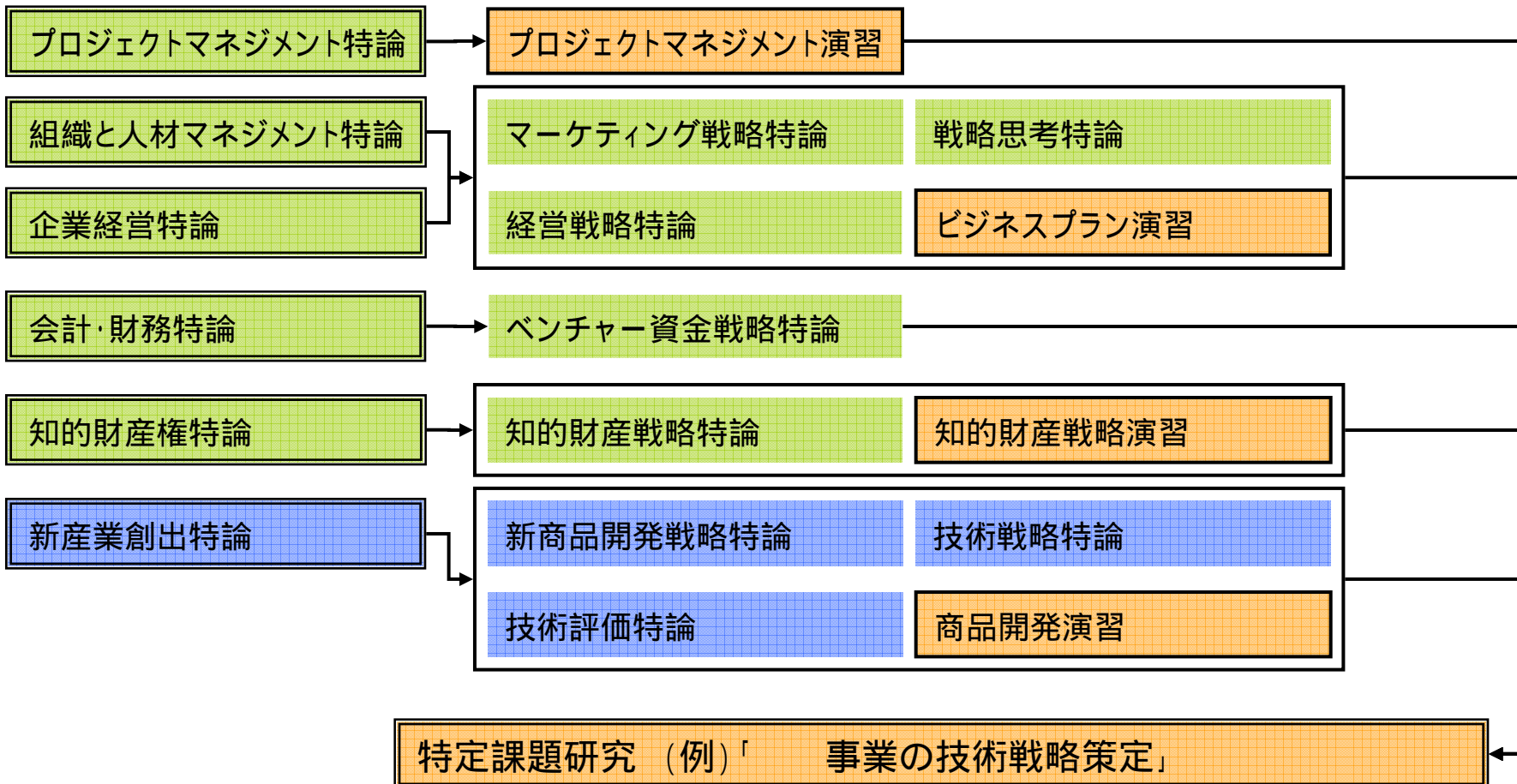
選択必修科目

カリキュラム内容：履修モデル

例： 地域中核企業CTO支援人材 及び CTO予備軍 を想定

必修科目群

選択科目・選択必修科目群



カリキュラム内容: 土日集中型教育

- 平日の勤務で多忙な社会人が受講しやすいよう、土日に集中して教育を実施

時 限	時間帯	月	火	水	木	金	土	日
1	8:50 – 10:20							
2	10:30 – 12:00							
3	12:50 – 14:20							
4	14:30 – 16:00							
5	16:10 – 17:40							
6	17:45 – 19:15							



山口大学

修了までの受講イメージ

1年次の履修例

1年前期 4月～7月

	第1クール 1～5週		第2クール 6～10週		第3クール 11～15週	
	土曜	日曜	土曜	日曜	土曜	日曜
午前	会計・財務	企業経営特論	知的財産権論		PM	
午後	新産業創出論		組織と人材マネ		PJ演習	

1年後期 10月～1月

	第1クール 1～5週		第2クール 6～10週		第3クール 11～15週	
	土曜	日曜	土曜	日曜	土曜	日曜
午前	先端機能材料		マーケティング		知財戦略	
午後		技術戦略	商品開発演習	創造的問題解決	知財演習	

2年次の履修例

2年前期 4月～7月

	第1クール 1～5週		第2クール 6～10週		第3クール 11～15週	
	土曜	日曜	土曜	日曜	土曜	日曜
午前	技術評価	経営戦略	リスク管理	R & Dベンチャー		
午後						





2年後期 10月～1月

	第1クール 1～5週		第2クール 6～10週		第3クール 11～15週	
	土曜	日曜	土曜	日曜	土曜	日曜
午前						
午後	戦略思考					

特定課題研究は2年次で通年実施
合計42単位

「赤字」:必修 「青」:選択必修 「黒」:選択

バランスのとれた専任教員陣(計12名)

	アカデミック キャリア型	実務経験 型
テクノロジー系		
マネジメント系		

学生と教員の比率

学生(1年生:19人、2年生:16人) / 専任教員(12人)

学生3人につき1名の教員

各種プロジェクトの採択により 教育インフラ、コンテンツを充実



山口大学

主な採択事例

<平成12～13年度>

- ・先導的起業家育成システム実証事業(経済産業省)

<平成14～15年度>

- ・起業家育成プログラム等導入促進事業(経済産業省)

<平成16年度>

- ・技術経営人材育成プログラム導入促進事業(経済産業省)

<平成17年度>

- ・技術経営人材育成プログラム導入促進事業(経済産業省)

- ・運営費交付金による特別事業(文部科学省)

<平成18年度>

- ・専門職大学院教育推進プログラム(文部科学省)

- ・技術経営人材育成プログラム導入促進事業(経済産業省)

コンサルティング・プロジェクト型実践教授法 支援システム



現場での課題提起



双方向講義中継用
移動式管制システム

討論を経て生きた教材
からの暗黙知の抽出



現場からの
中継



教室と現場の融合





山口大学

国内トップレベルの機能・性能 山口大学特許電子図書館



機能の特徴

特許公報に含まれる全テキストデータの検索機能を持つ

既存の特許電子図書館を含む、他の大部分の検索システムは書誌的事項を含む一部のテキストデータだけを検索対象としている。本システムは、1年当たり40万件を超える全ての特許実用新案公報について、データ量の多い「発明の詳細な説明」までを含んだ検索を実施し、同時に整理標準化索引データを用いた検索も実装している。

検索語句に対しテキスト全文の始点から終点まで全てを検索

フルテキストサーチは、システムに対する負担軽減のために検索語句から代表的語句を自動生成した上で検索するものが多い。この場合、自動代表語句生成が適切に行われないと、検索漏れが生ずる。本システムは、N-gram 検索方式でテキスト全文を端から端までもれなく検索するため検索漏れが生じない。厳密な検索を必要とする特許検索では必須機能である。

平均して3秒程度で全文検索が可能

N-gram 検索方式でテキスト全文データを文字単位で検索すると、検索速度が低下する欠点がある。本システムはキャッシュを保存することで、従前のシステムと比較して遜色のない検索速度を実現した。なお、一度検索された検索語の場合、1秒未満で全文検索が終了する

学内にサーバを設置することで安定した検索が可能

従来の特許電子図書館は、特に昼間授業時に外部ネットワーク等の要因で頻繁に接続できないことが多く、授業利用が中断されることが多かった。本システムは、外部ネットワーク環境の変動に左右されないため、どの時間帯の授業でも安定的に利用できる。なお、学内イントラネット接続ではあるが、学外への提供はポートを開放するだけで可能となり、インターネット経由で他大学や中小企業へのサービス提供にも対応できるようになっている。